科目名（英）	オリエンテーション・導入教育Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	岩本・吉田
		授業形態	演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

学年全体の学習イメージをつけることができる

【授業を通じての到達目標】

年間のスケジュールが理解できる
授業概要が理解できる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
プリント配布	

回	授業概要	テスト配点
1		
2		
3	【授業単元】 スケジュール・ルール確認・職員紹介・講師紹介	
4		
5		
6	【到達目標】 年間のスケジュール管理ができるようになる 学則・内規等のルールを理解し、遵守の意識を持つ 学科職員や学校組織の構成を知る 学校の校舎や教室の使い方を理解する	
7		
8		
9		
10	【授業単元】 時間割・授業概要理解 就職活動について　教材理解　教科書理解	
11		
12		
13	【到達目標】 年間の授業概要を理解し、これからの学びのイメージをもつ 就職活動についての具体的なじぶんのスケジュールを立てることができる 自身が今後使用するヘアやメイクの教材について把握し、使用方法が理解できる 奨学金制度などの奨学金サポート制度についても概要が理解できるようになる	
14		
15		

【特記事項】

【評価について】

●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	Basic Hair Design Ⅰ (Basic Hair Design Ⅰ)	必修選択	必須	年次	1	担当教員	木本/大井/中村/大野
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4）	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	水曜1,2 水曜3,4 金曜1,2 金曜3,4

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

実際に現場で働く講師よりトレンドを学びながら基礎の土台を固める。
ウィッグを用いてはじめての技術を練習した後、プロフェッショナルの技術を身に付ける為の基礎技術と理論を習得する。

〈講師経歴〉
木本：モデル事務所にてヘアメイクとして5年勤務。広告、イベント、雑誌、ブライダルショー等を中心に活動。その後海外でウェディングヘアメイク、コーディネーターとして経歴を積み、10年挙式施行にも携わり活動をの幅を広げる。帰国後フリーランスになりブライダルを中心に講師としても活動中。
大井：ブライダル業界ではサロン勤務やフリーランスとして15年以上従事し、その他にもファッションショー、雑誌の撮影、舞台等20年以上にわたり幅広く現役で活動している。
中村：美容師を経て、フリーランスとしてセットサロンに所属しながら声優、舞台、ショー、イベント、ブライダルのヘアメイクに従事。セットサロンでは15年以上スタッフ育成の講師も務める。
大野：ヘアメイク事務所所属後、フリーランスに変更。ブライダルを主に、舞台、TV、ヘアメイクスクール講師等で活動。現在ではヘアセット専門サロンを中心に活動中。

【授業を通じての到達目標】

基礎技術を身に付け、トレンドスタイルやサロンスタイルを習得し、人頭に慣れる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
ヘア教材一式	

回	授業概要	テスト配点
1	道具の名前や頭の名称などの専門用語を学ぶ セッティングをしてブロッキング・スライス・三つ編み・編み込みを実践してウィッグに慣れる	
2	【スタイル①】ウィッグ 流行りの小技テクニックを習得してスタイルを完成させる	
3	【コテ巻き】ウィッグ 理論を学び、フォワード巻き、リバース巻きを習得する	
4	【コテ巻き+スタイル②】ウィッグ 小技テクニックとコテ巻きの技術を用いて可愛いスタイルを完成させる	小テスト10点
5	【コテ巻き+スタイル②】相モデル 小技テクニックとコテ巻きの技術を用いて可愛いスタイルを完成させる	
6	【コテ巻き】ウィッグ コテ巻きダウンスタイルを完成させる（中間テスト練習）	
7	【コテ巻き】ウィッグ コテ巻きダウンスタイルを完成させる	中間テスト20点
8	【ピニング+スタイル③】ウィッグ アメピンの特性を理解し、ピニングの技術を習得する	
9	【ピニング+スタイル③】相モデル 8で修得した技術を活かして、アップスタイルを完成させる	
10	【ピニング+スタイル④】ウィッグ アレンジ構成を学び、アップスタイルを完成させる	小テスト10点
11	【ピニング+スタイル⑤】ウィッグ アレンジ構成を学び、アップスタイルを完成させる	
12	【コテ巻き+スタイル⑥】ウィッグ バリエーション巻きを習得し、流行スタイルを完成させる	
13	【コテ巻き+スタイル⑥】相モデル バリエーション巻きを習得し、流行スタイルを完成させる	
14	【コテ巻き+ピニング+スタイル⑦】ウィッグ 1～13までの技術を用いてスタイルを完成させる（定期テスト練習）	
15	【コテ巻き+ピニング+スタイル⑦】ウィッグ 1～13までの技術を用いてスタイルを完成させる	定期テスト60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	ベーシックヘアデザインⅡ （Basic Hair Desing Ⅱ）	必修選択	必須	年次	1	担当教員	今井・木本・清水 永井・佐藤・佑紀子
		授業形態	演習	総時間（単位）	60 (4)	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	木曜1．2．3．4

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

今井）音楽系芸能プロダクションにヘアーメイクとして所属。Liveや音楽番組を中心に活動。撮影スタジオ勤務にて広告、雑誌等のスチール撮影を担当し、6年後フリーランスへ。ブランドメイクアーティスト、舞台、TV、イベント等、様々なジャンルの業務に携わった経験を活かし、講師とフリーランスヘアーメイクにて活動中。

木本）モデル事務所にてヘアメイクとして5年勤務し雑誌,イベント,ブライダルショーなどを中心に活動。その後海外でウェディングヘアメイク,コーディネーターとして経験を積み10年挙式施行にも携わり活動の幅を広げる。帰国後フリーランスになりブライダルを中心にこれまでの経験を活かし講師としても活動中。

清水）外資系化粧品ブランドで勤務後、フリーランスヘアメイクとしてファッションショー、スチール撮影に携わる。

永井）アパレル業界を経て美容に転身。セットサロンに所属しながらファッション誌、広告の撮影、テレビ局勤務。現在はブライダルを中心に活動し、花嫁担当、多数会場との契約。着付け師としても活躍。ボディペイント、ボディアートにも幅を広げ、イベント関係等で出店。経験を活かし、トータルコーディネート力を伝えて行きたい。

佐藤）表参道のサロンで10年勤務後フリーランスで活動しながら芸能事務所にヘアメイクアーティストとして所属。撮影は主にアパレルのカタログやムック、アーティストのアー写や雑誌媒体など。現在は美容師としてサロンワークしながらフリーで活動。講師としてのキャリアもあり、美容師とヘアメイク、広い視点で教育にも携わる。

佑紀子）美容学校を最優秀で卒業後、心斎橋のサロンに入社、拠点を東京へ移し独立。現在も国内外のアーティストやタレントを担当しており、広告、カタログ、イベントやショーなど多岐に渡る分野で活動中。

上記講師メンバーにて、現場でのヘアーメイクを想定した基礎のヘアースタイルについての授業を展開します。

【授業を通じての到達目標】

実際に人に施すヘアを想定し相モデルを中心とした実技授業、また後期のコンテストに向けて基礎技術と知識、ヘアプロダクト（スタイリング剤）の使用方法習得する。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
teamsコマシラバスに記載	

回	授 業 概 要	テスト配点
1	ハンドドライ、ブロー、ストレートアイロンの技術を習得（ウイッグ）	
2	ハンドドライ、ブロー、ストレートアイロンの技術を復習（相モデル）	
3	一束ゴム結びの技術を習得（ウイッグ➡相モデル）	小テスト 10点
4	一束ゴム結びの復習 ゴム隠しの技術・ブレイド（表編み込み）・ピニングの技術を習得（ウイッグ）	
5	一束ゴム結び・ゴム隠し・ブレイド（表編み込み）・ピニングの技術を復習（相モデル）	
6	ブレイド技術（裏編み込み）を習得（ウイッグ）	
7	ブレイド（表編み込み/裏編み込み）・ピニング技術の復習 中間テスト（ウイッグ）	中間テスト 20点
8	コテ巻き（ダウンスタイル）の技術を習得（ウイッグ）	
9	コテ巻き（ダウンスタイル）の技術を復習（相モデル）	
10	コテベース巻き（ゆるふわスタイル）の技術を習得（ウイッグ）	小テスト 10点
11	コテベース巻き（ゆるふわスタイル）の技術を復習 顔回りのスタイリング技術を習得（相モデル）	
12	ホットカーラー・逆毛の技術を習得（ウイッグ）	
13	ホットカーラー・逆毛の技術を復習	
14	定期テスト練習	
15	定期テスト	定期テスト 60点

【特記事項】この授業では相モデル（お互いにモデルになる）での授業が多く予定されています。内容によってウィッグも使用しますので、各日程コマシラバスの持ち物よく確認して忘れ物のないようにしてください。現場を想定した相モデル授業ではスタイリング剤の使用も不可欠です。授業終了時刻には授業内容のヘアースタイリングが仕上がった状態が多く発生します。直後のスケジューリング（バイト等）には重々注意してください。また、授業開始前の授業内容に影響が出てしまうスタイリング剤の使用は控えていただくようにお願いします。

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	ベーシックメイクデザインⅡ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	堤・久保・秋本・大瀬
		授業形態	実技	総時間（単位）	60（4）	開講区分	前期
学科・ｺｰｽ	ヘアメイク科					曜日・時間	木曜日

【学習の目的】　（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

〈久保〉外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告、バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動。（12年）
〈堤〉外資系化粧品ブランドで3年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、雑誌、広告、バックステージで活動。並行して化粧品ブランドアーティストとして現役で活動。（12年）
〈秋本〉外資系化粧品ブランドで4年以上勤務の後、フリーランスヘアメイクとしてTV、CM、バックステージ（国内・外）、パーソナルメイクサロンとして活動中
〈鈴木〉美容部員（ARMANI）2年間。現役フリーランス（メンズ、ステージメイク等）
〈大瀬〉外資系化粧品ブランドで10年以上メイクアップアーティストとして実務。バックステージMV等のメイクの経験も有する。
〈清水〉外資系化粧品ブランドで勤務後、フリーランスヘアメイクとしてファッションショー、スチール撮影を携わって来た。

メイクの基礎技術を学び、応用へつなげていく。応用としてはスチールの撮影やコンテスト作品の創作を通して技術、デザイン力、スタイルバランスなどを身に付けていく。

【授業を通じての到達目標】

メイクの基礎技術だけでなく、スチール撮影や、コンテストに向けて必要な
応用的な技術、デザイン力、バランスを身につけられるようになる。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】

回		テスト配点
1	色の知識と基礎技術を習得　【コンシーラー（色選び）ベースメイク】	
2	色の知識と基礎技術を習得　【アイブロウ】	
3	色の知識と基礎技術を習得　【チーク・リップ】	
4	形の知識と基礎技術を習得　【アイシャドウ】	
5	形の知識と基礎技術を習得　【アイライナー・ビューラー・マスカラ】	
6	中間テスト練習　【コントゥアリング+練習】	5点
7	中間テスト	20点
8	色の作り方　【ペイント、ベースの使い方・色の混ぜ方】	5点
9	質感の知識と基礎技術を習得　【All ツヤ】	
10	質感の知識と基礎技術を習得　【マット】	
11	質感の知識と基礎技術を習得　【パール】	
12	色・形・質感の組み合わせ方を習得　【ツヤ+マット】	5点
13	色・形・質感の組み合わせ方を習得　【モノトーンメイク】	
14	色の組み合わせ方を習得　【補色】	5点
15	定期テスト　【補色模写】	60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
Ａ評価（90～100点）/Ｂ評価（80～89点）/Ｃ評価（70～79点）　Ｄ評価（60～69点）
Ｅ評価（出席不良・評価資格喪失）/Ｆ評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化

科目名（英）	Basic Make Design Ⅰ（Basic Make Design Ⅰ）	必修選択	必須	年次	1	担当教員	大瀬/木本/小林
		授業形態	演習	総時間（単位）	60（4）	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	水曜1,2 水曜3,4 金曜1,2 金曜3,4

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

講師はそれぞれヘアメイク現場経験を有する。様々な活用できるメイクアップ技術や、知識を基礎から学び習得する。

〈講師略歴〉

大瀬：外資系化粧品ブランドで13年以上メイクスキル指導やメイクアップアーティストとして実務。ファッションショーのバックステージやMV、CM等のメイクにも携わる。

木本：モデル事務所でヘアメイクとして広告、イベント、雑誌、ブライダルショーなどを中心に携わる(5年)。その後海外でウェディングヘアメイク、コーディネーターとして経験を積み挙式施工にも携わりながら活動(10年)。帰国後はブライダルを中心に講師としても活動中。

小林：ヘアメイクアーティストに師事後、フリーランスとして現在15年活動中。ファッションショー、雑誌、MV、CM、TV、ドラマ、映画、舞台、ブライダル等様々な現場に携わる。

【授業を通じての到達目標】

JESC検定合格を目指し、メイクアップを行うための衛生や基本の理論・技術を習得する。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
Basic Make Up、メイク道具一式	

回	授業概要	テスト配点
1	授業内容の確認と教材確認、テーブルセッティングとスキンケア手順を実践し習得する	
2	スキンケア手順の復習と、ベースメイクの手順や技術を学び習得する	
3	スキンケア手順からベースメイクの復習と、リップのプロポーションを理解し技術を学ぶ	
4	スキンケアからベースメイク、リップを復習しアイブロウのプロポーション理解し技術を学ぶ	小テスト 10点
5	スキンケアからベースメイク、リップ、アイブロウを復習しアイメイクの技術を学ぶ	
6	スキンケアからベースメイク、リップ、アイブロウ、アイメイクまでの一連の手順を習得する	
7	スキンケアからアイメイクまでの手順と技術 中間テスト	中間テスト 20点
8	ハイライト、シェーディング、チークの技術を学びフルメイクが出来るようになる	
9	タイムトライアル フルメイク 45分 時間内にフルメイクができるようになる	
10	タイムトライアル フルメイク 40分 時間内にフルメイクができるようになる 服装規定確認	
11	タイムトライアル フルメイク 35分、30分 時間内にフルメイクができるようになる	
12	JESC検定 模擬試験 フルメイク30分 検定と同じ規定で実践する	小テスト 10点
13	クレンジング、スキンケアの種類を知り、クレンジングとマッサージ手法を学ぶ	
14	定期テスト課題の練習をし、技術の向上と習得する ～模写～	
15	定期テスト課題を時間内に完成させる	定期テスト 60点

【特記事項】

7月10日 JESC検定 本番

【初回持ち物】

メイク道具一式、テキスト、名前ペンor名前シール、筆記用具

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	メイク技術理論	必修選択	必修	年次	1	担当教員	宮﨑　登志枝
		授業形態	演習	総時間（単位）	15（1）	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ヘアメイク経験がありJESCメイク検定を熟知した教員からメイクアップの基礎的な理論を学ぶ

<教員経歴>
宮﨑：日本大学芸術系大学卒業し、芸術学士取得。ヘアメイク、ブライダルヘアメイクを経て、本校にて20数年間指導にあたる。

【授業を通じての到達目標】

メイクアップにおける技術理論を理解し、JESCメイク検定に合格できるレベルに達する。

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
テキスト	

回	授　業　概　要	テスト配点
1	【授業単元】 身だしなみ、道具、立ち位置、ベースメイクにおける理論 【到達目標】 テキストにそって、身だしなみ、道具名称、用途、ベースメイクにおける技術理論を練習問題を解きながら習得する	
2		
3		
4		
5	【授業単元】 ポイントメイクにおける理論、皮膚構造、顔面骨格の知識 【到達目標】 テキストにそって、ポイントメイクにおける技術理論や皮膚構造、顔面骨格の基礎知識を練習問題を解きながら習得する	
6		
7		
8		
9	【授業単元】 JESCメイク検定を受験する 【到達目標】 評価を受け習得度を確認する	
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【特記事項】

【評価について】

●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	アシスタントプログラム (Assistant program)	必修選択	必修	年次	1	担当教員	ビーサイド佐藤
		授業形態	演習	総時間（単位）	15 (1)	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	月曜

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ヘアメイクアシスタントとしての知識・スキルを学ぶ。
・ヘアメイク業界の仕組み
・ヘアメイクアシスタントとして現場で役に立つためのスキル
・ヘアメイクが関わる媒体の知識
・就職活動のサポート

<講師経歴>
ヘアメイク事務所、株式会社ビーサイド代表。
ヘアメイクのマネージメントオフィスとして33年前に設立し、20名程のヘアメイクアーティストが在籍。自身もヘアメイクアップアーティストとして広告、音楽、芸能、出版、ブライダル業界等で幅広く活躍しながら、後進の育成にも力を注いでいる。

【授業を通じての到達目標】

ヘアメイクアシスタントとして現場で臨機応変に動けるようになる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
授業毎に資料配布	

回	授 業 概 要	テスト配点
1	自己紹介	
2	業界理解　ヘアメイクについて	
3	道具見せ・お直しバッグ中身説明	
4	ヘルプについて・デモンストレーション	
5	現場でのネイル・ハンドマッサージについて	
6	広告業界について	
7	現場実習について	
8	音楽業界について	
9	業界用語について	
10	テレビ業界について	
11	映画・ドラマ業界について	
12	芸能界について	
13	作品撮影にrついて	
14	振り返り・就職活動について	
15		

【特記事項】

【評価について】

●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	デザインイラスト演習（集中）(Design Illust)	必修選択	必須	年次	1	担当教員	今井
学科・コース	ヘアメイク科	授業形態	演習	総時間（単位）	15（1）	開講区分	前期
						曜日・時間	月曜1，2，3，4

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）講師50音順

今井）音楽系芸能プロダクションにヘアーメイクとして所属。Liveや音楽番組を中心に活動。撮影スタジオ勤務にて広告、雑誌等のスチール撮影を担当し、6年後フリーランスへ。ブランドメイクアーティスト、舞台、TV、イベント等、様々なジャンルの業務に携わった経験を活かし、講師とフリーランスヘアーメイクにて活動中。美容、アパレル業界を中心にブランディング、商品開発に携わり、イラストデータによる各デザイン画の提案もしている。

上記講師にて、イラスト、メイクフェイスチャート、デザインについての授業を展開します。

【授業を通じての到達目標】

各授業デモンストレーション時のメモと、スチール撮影、コンテスト時に使用するコンセプトシートの描き方(電子&メイク道具)を習得し、様々な業種、アプローチ方法の選択肢を広げる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
teamsコマシラバスに記載	

回	授 業 概 要	テスト配点
1	デジタルイラストの描き方を習得する（基礎）	
2	メイクフェイスチャートの描き方を習得する（基礎）	
3	デジタルイラストの描き方を習得する（応用）	

【特記事項】1、3回目はアイパッド、電子ペン、2回目はメイク道具等、授業回によって持ち物が異なります。持ち物詳細はコマシラバスの持ち物欄を確認し、忘れ物がないようにしましょう！　※第1、3回時→アイパッド、電子ペン等の充電は必ず完了した状態で授業開始時刻を迎えてください。

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）　D評価（60～69点）　E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	プロフェッショナルへの道Ⅰ（professional seminar Ⅰ）	必修選択	必修	年次	1	担当教員	担任
学科・コース	ヘアメイク科	授業形態	演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	前期
						曜日・時間	水曜2限（3組）、水曜3限（4組） 金曜2限（1組）、金曜3限（2組）

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

ヘアメイク業界の理解を深め、社会人として必要な教養・マナーを学び、現場実習に活かすことが出来る
主たる講師：美容院に美容師として勤務後、本校ヘアメイク科担任として従事している（岩本）

【授業を通じての到達目標】

美容のプロになるために必要な業界知識や流れを理解し、ヘアメイクの分野に合わせたビジョンを組み立てることが出来る
目指すヘアメイク分野の業界を知り、方向性を見出し、自主的に行動できるようになる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
毎授業時にteams共有	毎授業時にteams共有

回	授業概要	日付	テスト配点
1	講話受講のマナーについて・入学式を終えての振り返りと目標設定・決意の確認。クラス内でシェア・発表を行い、お互いを認め合うことを学ぶ。サポートアンケートの実施・ITリテラシー実施 【クラス会議の立ち上げ】	2024/4/17（水） 2024/4/12（金）	
2	ヘアメイクの仕事・業界を知る①・ （ヘアメイク分野の業種について学び、調べ、理解を深めることが出来る） 【クラス会議　傾聴トレーニング】	2024/4/24（水） 2024/4/19（金）	5点
3	ヘアメイクの仕事・業界を知る② （ヘアメイク分野の業種について学び、調べ、理解を深めることが出来る） 【クラス会議　傾聴トレーニング】	2024/5/1（水） 2024/4/26（金）	5点 5点
4	ヘアメイクの仕事・業界を知る③（課題内容を発表共有し、更に業界についての理解を深め自己理解・他者理解を深める。） 【クラス会議　異なる見方、考え方】	2024/5/8（水） 2024/5/10（金）	
5	ヘアメイクの仕事・業界を知る④（課題内容を発表共有し、更に業界についての理解を深め自己理解・他者理解を深める。） 【クラス会議　議題を集める】	2024/5/15（水） 2024/5/17（金）	
6	ヘアメイクの仕事・業界を知る⑤（調べた内容のPPを作成し発表出来る準備をする。更に業界についての理解を深め自己理解・他者理解を深める（他人の考え・価値観の違いを学ぶ） 【クラス会議　議題を集める】	2024/5/22（水） 2024/5/24（金）	
7	中間テスト（美容業界・ヘアメイク業界についての知識をアウトプットし、より理解を深め、復習が出来る） 美容業界について知る①（調べた内容を発表し、更に業界についての理解を深める） 【クラス会議　問題解決】	2024/5/29（水） 2024/5/31（金）	20点
8	美容業界について知る②（調べた内容を発表し、更に業界についての理解を深める） 担任面談（指定期日に担任との面談を行い、個人目標を明確にする） 【クラス会議　問題解決】	2024/6/5（水） 2024/6/7（金）	
9	美容業界について知る③（調べた内容を発表し、更に業界についての理解を深める） 担任面談（指定期日に担任との面談を行い、個人目標を明確にする） 【クラス会議　問題解決】	2024/6/12（水） 2024/6/14（金）	
10	美容業界について知る④（調べた内容を発表し、更に業界についての理解を深める） 担任面談（指定期日に担任との面談を行い、個人目標を明確にする） JESCメイク検定筆記対策①ヘアメイク発表ワーク 【クラス会議　問題解決】	2024/6/19（水） 2024/6/21（金）	
11	担任面談（指定期日に担任との面談を行い、個人目標を明確にする） JESCメイク検定筆記対策模試②ヘアメイク発表ワークグループ実習発表 【クラス会議　問題解決】	2024/6/26（水） 2024/6/28（金）	
12	JESCメイク検定筆記対策③ 現場実習について・現場で対応できる「大人の言い回し」を学ぶ 【クラス会議　問題解決】	2024/7/3（水） 2024/7/5（金）	
13	自分の「好き」について認知し共有する準備をする。 夏休み課題について 【クラス会議　問題解決】	2024/7/17（水） 2024/7/19（金）	
14	自分の「好き」についてにプレゼンする（デバイスを使用し、効果的に発表する） 13回目までの授業の振り返り授業（全授業の振り返りを行い、復習をする） 【クラス会議　問題解決】	2024/9/4（水） 2024/9/6（金）	5点
15	定期テスト（60点満点）・後期に向けて（前期の振り返りをし、自分の成長について考える） 【クラス会議　共同体感覚の再確認】	2024/9/11（水） 2024/9/13（金）	60点

【特記事項】

【評価について】

●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点　計100点満点

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	業界研究Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	岩本・吉田
		授業形態	演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

現場のヘアメイクの方からやりがいやトレンド、仕事の内容を伺い、将来の仕事のイメージをつける

【授業を通じての到達目標】

自身が将来進みたい分野の仕事のイメージつけることができる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
資料・教材は毎授業時に配布	授業によって自宅課題あり

回	授業概要	テスト配点
1	【授業単元】 ヘアメイクの働き方（事務所） 【到達目標】 事務所で働くヘアメイクのイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、学んだことを言語化して振り返ることができる	
2		
3	【授業単元】 ヘアメイクの働き方（スチール・広告） 【到達目標】 スチールや広告等静止画で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事のやりがいなど、言語化して振り返ることができる	
4		
5	【授業単元】 ヘアメイクの働き方（映像系） 【到達目標】 映画・ドラマ・CMなどの映像系で活躍するヘアメイクの仕事のイメージをつけることができる 仕事内容などを言語化して振り返ることができる	
6		
7	【授業単元】中間テスト ヘアメイク業種・仕事内容・分野・働き方の振り返り 【到達目標】 今まで学んだ内容を振り返り、やりがいなどをプレゼンテーションすることができる	
8		
9	【授業単元】 ヘアメイクの働き方（ブライダル） 【到達目標】 ブライダルヘアメイクで働くことのイメージをつけることができる 仕事の内容などを振り返り、言語化することができる	
10		
11	【授業単元】 ヘアメイクの働き方（フォトスタジオ） 【到達目標】 スチール現場実習時のカメラ前アシスタントの動きや流れを理解出来る フォトスタジオで働くヘアメイクの仕事を理解する 仕事を振り返り、言語化することができる	
12		
13	【授業単元】 ヘアメイクの働き方（サロン） 【到達目標】 美容サロンで働くヘアメイクの仕事をイメージすることができる 仕事を振り返り、言語化することができる	
14		
15	【授業単元】定期試験　振り返り 【到達目標】ヘアメイクの仕事をトータルな視点で判断し、自分にあった職種をイメージすることができる	

【特記事項】

【評価について】

●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	業界特別授業Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	岩本・吉田
		授業形態	演習	総時間（単位）	15（1）	開講区分	前期
学科・ｺｰｽ	ヘアメイク科					曜日・時間	集中

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

各企業より人事担当者が来校し、業界周辺の状況と顧客ニーズ、トレンド分析を実施する

【授業を通じての到達目標】

将来の就職分野の状況を知る

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
講師作成資料	

回	授業概要	テスト配点
1	【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】就職活動について/企業紹介	
2	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす	
3	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす	
4	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報	
5	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす	
6	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす	
7	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす	
8	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報	
9	【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】就職活動について/企業紹介	
10	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす	
11	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす	
12	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報	
13	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす	
14	【授業単元】業界プレゼンテーション 【到達目標】企業開発主任、技術責任者から業界情報、トレンドについて説明を受け今後の学びに活かす	
15	【授業単元】振り返り 【到達目標】業界分析、顧客ニーズ分析、技術分析情報	

【特記事項】

【評価について】

●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	現場トレーニングⅠ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	今井/鈴木/橋本
学科	ヘアメイク科	授業形態	演習	総時間（単位）	30（2）	開講区分 曜日・時間	前期（月）

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

多方面で活躍するヘアーメイクアーティストから、実際の仕事で活用することができる技術を習得する

〈講師経歴〉
今井：音楽系芸能プロダクションにヘアーメイクとして所属。Liveや音楽番組を中心に活動。撮影スタジオ勤務にて広告、雑誌等のスチール撮影を担当し、6年後フリーランスへ。ブランドメイクアーティスト、舞台、TV、イベント等、様々なジャンルの業務に携わった経験を活かし、講師とフリーランスヘアーメイクにて活動中。美容、アパレル業界を中心にブランディング、商品開発に携わり、イラストデータによる各デザイン画の提案もしている。
鈴木：美容部員（ARMANI）2年間。現役フリーランス（メンズ、ステージメイク等）
橋本：ネイリスト歴24年、店長、スタッフ育成、人事などに携わり、スクール講師として20年以上勤務。

【授業を通じての到達目標】

ヘアメイクアーティスト・ヘアメイクアシスタントに必要な知識・技術を習得する
ヘアメイク現場の実践イメージを掴むことが出来る

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
毎授業時にteams共有	

回	科目	授業概要	テスト 配点
1	ブロー演習	ウィッグでのブロー・ドライヤーの当て方 ブラシの使い分け・メンズドライの習得	
2		相モデルで実践ブローでスタイルを作る事を習得	
3		シャンプーのお濡らしから手の動かし方まで習得	
4		シャンプーからブロー、フィニッシュワークまでの流れを習得	
5	ネイル演習	ネイルの技術形態を理解する ネイルケアの用具用材と使用目的を理解する カラー別カラーリング方法を理解する	
6		ウッドスティックを2種類にカスタマイズして用途を覚える コットンスティックが用途に合わせた大きさで作成することができる	
7		手指消毒の方法を覚え実践できる 対面 でのファイリング ～カラーリングまでの手順と ブラシワークを習得する	
8		テーブル無し（立膝）での実践方法を習得する テスト：皮膚に付着がなくカラーリングができる	
9	メンズスタイリング	メンズのヘアスタイル理解を深める	
10		媒体、シーン別で（動画・スチール・LIVE）求められるスタイリングスキルを理解する	
11		ヘアスタイリング剤の効果、用途を理解し、ヘアスタイル毎に適した 使用方法を習得する	
12		ウィッグでを使用しメンズヘアセットを仕上げることが出来る	
13	作品 撮影	デモンストレーションから作品撮影のポイントを理解する	
14		グループ撮影を実践し、1つの作品を仕上げることが出来る	
15		撮影作品のフィードバックを受け、多角的なポイントの見方を習得する	

【評価について】
●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	国際教育	必修選択	選択	年次	1	担当教員	岩本・吉田
		授業形態	演習	総時間（単位）	15（1）	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

海外のヘアメイク技術を知り、知見を広げる

【授業を通じての到達目標】

海外で活躍するヘアメイクアーティストの実演を通して、ヘアメイクの幅を広げる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
毎授業時に配布	

回	授業概要	テスト配点
1	【授業単元】 海外のヘアメイク事情 【到達目標】 ・日本と海外のヘアメイクの違いについて調べ、学習や発表を通して理解を深める ・海外研修プログラムの概要を理解する	
2		
3		
4		
5	【授業単元】 海外研修を理解する 【到達目標】 ・ヘアメイク科で毎年行っている海外研修の内容を理解し、イメージを広げる ・昨年参加した先輩から話を聞き、学びを深める ・研修先の施設を調べ、どのようなプログラムが行われたのかを理解する	
6		
7		
8		
9	【授業単元】 海外研修先のヘアメイクアーティストの技術実演① 【到達目標】 ・海外研修先のロサンゼルスで活躍するヘアメイクアーティストの技術を見学し、視野を広げる ・海外で働くヘアメイクアーティストの価値観を理解する ・日本との違いを学ぶ	
10		
11		
12		
13	【授業単元】 海外研修先のヘアメイクアーティストの技術実演② 【到達目標】 ・ロンドン、フランスで活躍するヘアメイクアーティストの技術を見学し、視野を広げる ・国ごとの考えの違いや、顧客の違いを理解する ・海外で働くヘアメイクアーティストの価値観を理解する ・海外での学びの重要性を理解する	
14		
15		

【特記事項】

【評価について】

●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	相互支援演習Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	岩本・吉田
		授業形態	演習	総時間（単位）	15（1）	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

クラスの相互支援関係を構築する

【授業を通じての到達目標】

クラスメイトと自然にコミュニケーションが図れるようになる

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】
毎授業時に配布	

回	授業概要	テスト配点
1	【授業単元】 コミュニケーション技法① 【到達目標】 ・グループワークの方法を学ぶ ・コミュニケーションゲームを通して相互理解を深める ・自己紹介を通して自己開示を進める	
2		
3		
4		
5	【授業単元】 コミュニケーション技法② 【到達目標】 ・ヘアメイクの調べ学習と発表を通じて、プレゼンテーション力を上げる ・異質なものを認めることができる ・自分自身を理解することができる	
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【特記事項】

【評価について】

●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

科目名（英）	総合演習Ⅰ	必修選択	必修	年次	1	担当教員	岩本・吉田
		授業形態	演習	総時間（単位）	15（1）	開講区分	前期
学科・コース	ヘアメイク科					曜日・時間	集中

【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）

2年生の学内コンテストを見学し、自身の1年後を具体的に想起させる

【授業を通じての到達目標】

コース選択後の自分と照らし合わせることで学習に対するモチベーションを高める

【使用教科書・教材・参考書】	【授業外における学習】

回	授業概要	テスト配点
1	【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】コンテスト見学の目的を理解する、本日の競技内容の説明	
2	【授業単元】コンテスト見学 【到達目標】各分野に分かれて2年生の競技を見学する	
3	【授業単元】コンテスト見学 【到達目標】各分野に分かれて2年生の競技を見学する、表彰式を見学し達成感について考える	
4	【授業単元】コンテスト見学の振り返り 【到達目標】2年生のコンテストを見学し感じた事を書き出すことにより客観的に自分の考えを理解する	
5	【授業単元】オリエンテーション 【到達目標】本日の競技内容の説明	
6	【授業単元】コンテスト見学 【到達目標】各分野に分かれて2年生の競技を見学する	
7	【授業単元】コンテスト見学 【到達目標】各分野に分かれて2年生の競技を見学する、表彰式を見学し達成感について考える	
8	【授業単元】コンテスト見学の振り返り 【到達目標】2年生のコンテストを見学し感じた事を書き出すことにより客観的に自分の考えを理解する	
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【特記事項】

【評価について】

●出席・授業態度・提出物の状況に応じて100点満点で評価を実施

●評価
A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）
D評価（60～69点）
E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。